

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオール弘明寺教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童の特性を適切に理解し、計画的、組織的に専門的なアプローチをできる環境が整っていること。	・特性理解は行動観察によるインフォーマルアセスメントが主でありながらも、心理検査等のフォーマルアセスメントの結果を読み解き、支援に反映させる等、柔軟に行っています。 ・児童同士の相性、特性、ニーズに合わせた小グループ編成を組んでおり、ピンポイントな療育プログラムを実施しています。	・専門的な療育プログラムは実地研修(OJT)で伝えていますが、来年度からは2単位目も開所され、職員の人数も増えるため、一定レベルのクオリティを保つための研修プログラムの開発に力を入れていきたいと考えています。
2	・児童、保護者に寄り添った対応をしており、安心して通所できる、相談できる事業所と認めて頂けていること。	・事故を未然に防ぐことはもちろんですが、万が一怪我等が発生した場合は、速やかに保護者に情報共有することを心掛けています。 ・アットホームな居場所として、通所しやすい、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています。	・クオールの理念及び行動指針を周知し、今後も地域に求められる事業所であり続けられるようにしていきます。
3	・プログラムや遊びには児童の興味関心を取り入れる工夫を行っていること。	・児童との雑談や、自由時間の遊びを一緒に楽しむ中で興味関心は適宜アセスメントしています。 ・活動プログラムはある程度固定されていますが、楽しみながら参加できるよう、楽しいと思えるプログラムを常に検討し続けています。	・4月からは学年の上がる児童も増え始めます。下校後の遊びの時間も大切に考えているため、自由時間と療育プログラムのバランスについては、児童の様子をみながら、適宜判断していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流の機会が少ないこと。	・地域交流のパイプがないため、療育プログラムとして計画的に実施することが困難となっています。 ・公園遊びも重視しているが、天候に左右されるため計画的に実施することが困難となっています。	・近隣のキッズクラブや児童館等へ連絡を取り合っており、地域交流のあり方についてご意見を頂き、実現可能な範囲を探っていきます。
2	・各種マニュアルは整備しているものの、保護者が気軽に閲覧できる状況にはないこと。	・マニュアルは冊子にまとめて玄関に設置していますが、保護者が事業所を訪れなければ閲覧する機会がありません。	・令和8年度よりICT化を進めているので、安全計画をはじめとして各種マニュアルもインターネットを通じて閲覧しやすい環境構築をしていきます。
3	・研修状況等の情報発信が不足していること。	・公式HPは整備していますが、発信する内容が属人化しており、計画的に発信するしくみがありません。	・組織として情報発信する内容、頻度を決定し、適切に役割分担をしながら情報発信するしくみづくりを行っていきます。